

当院で内視鏡検査治療を受けられる方へ

函館五稜郭病院では、患者さんの診療向上のための下記の研究を当院の倫理委員会で審査・承認された後、病院長の許可を得て実施しています。

《研究課題名》

「消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築（多施設共同 前向き観察研究）」

《対象となる方》

当院において内視鏡検査・治療を受けられた方

全体の研究期間：2015年1月1日～2024年12月31日です。

《目的と研究協力をお願い》

この研究は、日本消化器内視鏡学会内に設けられた Japan Endoscopy Database(JED) Project 委員会が主導となり、全国の日本内視鏡学会認定施設が協力して実施する多施設共同研究です。

日本全国の消化器内視鏡検査・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目的としています。

研究対象者となる方または代理の方で、この研究への情報の利用にご賛同頂けない場合は、情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合やご質問がある方は下記お問い合わせ先にご連絡ください。 ただし、検査・治療から6ヵ月経過した情報関しては利用させていただきます。

《問い合わせ先》

函館五稜郭病院：電話番号 0138-51-2295（病院代表番号）平日 9時～17時で対応

研究責任者：矢和田 敦

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

研究にあたっては、個人を同定できないように個人情報情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

《情報の利用と研究方法》

日本消化器内視鏡学会では、この研究で集められたデータを分析することで以下のことを明らかにすることを目的にしています。

- 内視鏡関連手技を行っている施設診療科の特徴
- 医療水準の評価
- 適正な消化器内視鏡専門医の配置、ならびに消化器内視鏡技師、看護師などのコメディカルの適正な配置
- 早期癌登録に対する精確な情報収集
- 内視鏡検査、治療を受けた方の予後

- 内視鏡検査・治療の医療経済的な情報収集
- これから内視鏡関連手技を受ける方の死亡・合併症の危険性、など

内視鏡部門システムから別途定める項目を抽出し、匿名化された状態で日本消化器内視鏡学会本部に設置したサーバ内に格納しデータベースを構築し、各種分析を行います。

《利用又は提供する情報の項目》

検査日、年齢、性別、ASA Grade、抗血栓薬（使用状況ならびに中止、置換の有無などの詳細）、喫煙歴ならびに喫煙の有無、飲酒歴および飲酒状況、悪性腫瘍、家族歴、他臓器癌既往歴、ヘリコバクター・ピロリ感染状態、内視鏡検査の予定性、外来・入院、検査目的、治療目的、鎮痙剤使用状況、鎮静・鎮痛・麻酔に関する事項、内視鏡の挿入経路、使用スコープ情報、送気の種類、特殊観察法、観察範囲、手技開始・終了時間、手技中、手技後偶発症、30日以内の死亡の有無、実施医師名（医籍番号）、副実施医師名（医籍番号）、内視鏡看護師・技師名、腹部手術歴、生涯大腸内視鏡歴、造影範囲、挿管、胆管・膵管径、挿管難易度、胆管へのアプローチ方法、など

《総括責任者と事務局》

統括責任者：日本消化器内視鏡学会 Japan Endoscopy Database(JED)Project 委員会
委員長 田中 聖人

研究事務局：日本消化器内視鏡学会 事務局 電話 03-3525-4670

共同研究機関および研究責任者：

東京大学医学部附属病院	藤城光弘
国立がん研究センター中央病院	斎藤豊
北里大学病院	木田光広/堅田親利
虎の門病院	布袋屋修
京都大学医学部附属病院	武藤学/堀松高博
東京医科歯科大学医学部附属病院	大塚和朗
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	加藤正之
埼玉医科大学国際医療センター	良沢昭銘

《情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》

統括責任者：日本消化器内視鏡学会委員会 委員長 田中 聖人

研究責任者：函館五稜郭病院 消化器内科 矢和田 敦